

7 地域教育研究センター

地域教育研究センターは、平成 24 年 4 月に、本学が、社会に貢献する大学として、地域コミュニティに根ざし、また、未来を拓く「地の拠点」としての役割の強化並びに本学の教育理念である「地域社会志向教育」を実現するために、設置された。

センターには、次の 5 部会が含まれる。

- (1) 共通教育部会：共通教養教育及び教職課程の企画運営を行う。
- (2) 生涯学習部会：地域の人々の知の探究への支援事業の展開及び地域の教育力向上のための活動を行う。
- (3) キャリア支援部会：学生のキャリア教育・就職支援の強化及び県民のキャリア開発の支援を行う。
- (4) 産官学研究部会：産官学連携を推進する。
- (5) 地域課題研究部会：地域社会の諸活動に対する専門的な支援や、地域社会の持続的発展のための研究の調整、受入れを行う。

事業実施状況

【履修証明プログラム】

平成 26 年度から「履修証明プログラム」を開始している。4 年目の平成 29 年度は、高知県に関する歴史、文化、環境などについての知識や教養を高めいただくために「地域学プログラム」（「土佐学プログラム」から名称を変更）を実施し、2 名の受講生がプログラムを修了した。また平成 28 年度から、高齢者ケアのための職業実践力育成プログラム「保健福祉医療従事者の力量アップのための講座」も開始し、2 年目の平成 29 年度は 8 名の受講生がプログラムを修了した。

(1) 「地域学プログラム」科目一覧

授 業 科 目	授 業 科 目
必修科目	選択科目
地域学概論	土佐の自然と暮らし
土佐学フィールドワーク	土佐の食と健康
土佐学ゼミナール	自然災害と防災の科学
	地方自治論
	地域社会と法文化
	土佐の歴史と文化

	土佐の経済とまちづくり
	文化政策論
	災害と法
	観光産業論
	観光企画論

(2) 「多職種連携による保健福祉医療従事者の力量アップのための講座」科目一覧

授 業 科 目	授 業 科 目
高齢者への福祉支援	生活習慣病の治療と予防チームアプローチⅠ
介護過程実践演習	チームアプローチⅡ
高齢者のフィジカルアセスメント	最新看護知識の実践への活用
認知症患者と家族への支援	高齢者福祉の現状と実践のための講座
高齢者の食生活と住環境	

【高知県立大学県民開放授業】

県民開放授業は、平成14年度後期から、文化学部の公開講座の一つとして始まった。平成25年度には、地域教育研究センターが「AERU 県民公開授業」を実施し、平成26年度からは、上記2つの事業を統合し、「高知県立大学県民開放授業」を実施している。

(1) 平成29年前期

延べ受講者数：44名

提供科目：21科目（文化学部専門科目 5科目、共通教養教育科目 16科目）

授 業 科 目	受講者数	授 業 科 目	受講者数
近代文学講読（永国寺）	4	ビジネスリテラシー（永国寺）	-
日本文学概論（永国寺）	5	栄養と疾患（永国寺）	5
中国文学講読（散文）（永国寺）	5	法学（池）	1
古典文学講読（散文）Ⅰ（永国寺）	3	現代社会論（池）	4
中国文学講読（韻文）（永国寺）	5	環境衛生（池）	-
法学（永国寺）	3	基礎化学（池）	-
経済学（永国寺）	1	現代科学文化論（池）	-
情報リテラシー（永国寺）	-	基礎ジェンダー学（池）	-
居住環境論（永国寺）	3	社会保障と生活（池）	2
地球の科学（永国寺）	1	居住環境論（池）	-
司法制度と人権（永国寺）	2		

(2) 平成 29 後期

延べ受講者数：44 名

提供科目：28 科目（文化学部専門科目 5 科目、共通教養教育科目 23 科目）

授 業 科 目	受講者数	授 業 科 目	受講者数
現代文学購読（永国寺）	5	住まいと健康と安全（池）	-
中国文学史（永国寺）	4	経済学（永国寺）	1
古典文学講読（散文）Ⅱ（永国寺）	3	情報リテラシー（永国寺）	2
対照言語学（永国寺）	2	基礎ジェンダー学（永国寺）	-
米文化・文学史（永国寺）	4	現代科学文化論（永国寺）	1
現代人権論（永国寺）	1	地球の科学（池）	-
社会保障と生活（永国寺）	-	現代人権論（池）	-
情報処理概論（永国寺）	2	地球とグローバリゼーション（池）	3
ビジネスリテラシー（永国寺）	3	対人関係論（池）	-
ジェンダーとキャリア（永国寺）	2	情報リテラシー（永国寺）	-
基礎科学（永国寺）	2	科学と人間（池）	1
健康とヘルスプロモーション（永国寺）	3	ジェンダーとキャリア（池）	-
現代社会論（永国寺）	5	情報処理概論（永国寺）	-
科学と人間（永国寺）	-	住まいと健康と安全（永国寺）	-

【高大連携事業】

(1) 小、中、高等学校への出前講座

学問に対する興味・関心を高め、大学で学ぶことの魅力や楽しさについて知っていただくことを目的として、高知県内の小・中・高等学校を対象に、出前講座を実施している。

平成 29 年度延べ受講者数：569 名

実施校名	実施日	対象者	受講者数
高知県立高知追手前高等学校	6/16	2 年生	36
土佐女子中学高等学校	6/21	高校 1・2 年生	144
高知県立高知小津高等学校	6/22	2 年生	32
愛媛県立松山中央高等学校	7/6	2 年生	13
徳島県立脇町高等学校	8/24	高校 1・2 年生	39

高知市立旭小学校	9/21	4年生	45
南国市立久礼田小学校	9/29	5年生	20
高知県立山田高等学校	10/16	1～3年生	10
高知学芸高等学校	10/20	1年生	73
高知県立山田高等学校	10/25	2年生	49
高知県立高知小津高等学校	10/26	1年生	14
高知県立高知丸の内高等学校	12/11	1年生	81
高知県立宿毛高等学校	12/13	2年生	13

(2) 高校生のための公開講座

高校生が、大学の教育・研究に触れ、学問に対する興味・関心を深め、学びの楽しさについて知っていただくことを目的に実施している。

平成 29 年度延べ受講者数：180 名

内容	実施日	対象者	受講者数
「県大立志塾」第 1 回	9/23	高校生	77
「県大立志塾」第 2 回	1/6	高校 1・2 年生	39
「県大立志塾」第 3 回	3/10	高校 1・2 年生	42
「環境を化学的視点から捉える実験講座」 第 1 回 マイクロスケール化学実験入門	12/23	高校 1・2 年生	8
「環境を化学的視点から捉える実験講座」 第 2 回 水質簡易分析法はどの程度正確か?	2/10	高校 1・2 年生	4
「環境を化学的視点から捉える実験講座」 第 3 回 水質の指標としての溶存酸素	2/17	高校 1・2 年生	10

【地域教育研究センター主催公開講座】

「知の拠点」として、県民一般を対象とした公開講座を随時開催している。

平成 29 年度延べ受講者数：187 名

内 容	実施日	対象者	受講者数
観光による持続可能な地域振興	2/3	一般	60
第 7 回地域活性化フォーラム「支えあい・地域 活動拠点と住民主体の地域づくり」	2/10	一般	78
コミュニティカレッジ・バックステージ in	11/11	一般	19

高知 [共催]NPO 高知市民会議			
土佐志民大学 2017 二限目 「made in 高知を造る会社たち」 [共催]NPO 高知市民会議	3/4	一般	21
土佐志民大学 2017 四限目 「キミは、どう進むのか? ~大学生から高校生に伝えたいコト~」 [共催]NPO 高知市民会議	3/24	一般	9

【第 34 回「本山町・高知県立大学・高知短期大学公開講座」協定書に基づく公開講座】

平成 26 年度までは高知短期大学と本山町で開催されていたものを平成 27 年度からは本学が引き継ぎ、高知短期大学、本山町との三者協定により開催している。

平成 29 年度延べ受講者数：210 名

内 容	実施日	対象者	受講者数
第 1 講 開校式・特別講演「生涯学び続けることの意義」	5/20	本山町民他	10
第 2 講「漢詩の魅力 歙(くわ)を持った詩人たち」	5/29	本山町民他	15
第 3 講「『アメリカ文学』ができたころ ワシントン・アーヴィングのニューヨーク・ストーリー」	6/27	本山町民他	18
第 4 講「車争い前後・六条御息所の生霊出現 一源氏物語『葵』巻一」	7/12	本山町民他	16
第 5 講「イギリス文学講座 天才作家シェイクスピアはいかにして悲劇を仕掛けるのか」	8/30	本山町民他	19
第 6 講「最期まで住み慣れた地域で暮らすために」	9/26	本山町民他	28
第 7 講「高齢者が支え、若者が共感・共生する地域づくり — 少子高齢化を逆手にとって—」	10/5	本山町民他	26
第 8 講「あなたの地域を元気にするためのまちづくり」	11/21	本山町民他	24
第 9 講「選挙制度から私たちの生活を考える」	12/5	本山町民他	16
第 10 講「世界各国の民主主義、日本の民主主義：何が同じで違うのか」	1/16	本山町民他	12
第 11 講「新興大国インドとアジア国際政治の新展開」	2/9	本山町民他	16

第 12 講 閉校式・特別講演「学びつづけよう！」	3/17	本山町民他	10
---------------------------	------	-------	----

【立志社中】

平成 25 年度から地域の課題解決に主体的に取り組む学生を大学として支援する「立志社中」をスタートさせ、平成 29 年度は、10 件のプロジェクトを採択し、支援した。

平成 29 年度採択プロジェクト

プロジェクト名	チーム名	交付額(利息含) [執行額]
Shining Kochi!～新聞ばっぐで絆づくり～	news paper's	0 円 [0 円]
かんきもん	かんきもん	200,000 円 [70,085 円]
「いでんし」プロジェクト	活輝創生実行委員会	252,810 円 [102,937 円]
ボランティア社中	イケあい地域災害学生ボランティアセンター	259,552 円 [208,884 円]
それいけ！大野見エコ米～No Rice.No Life～	COME☆RISH	228,878 円 [227,357 円]
Revolution～地域の力を引きだして～	P シスターズ	200,000 円 [157,954 円]
香美市の民具調査	from ZERO	283,889 円 [205,431 円]
池地域まるごとサロン活動	いけいけサロン活動	192,776 円 [66,629 円]
健援隊プロジェクト	健援隊	229,680 円 [40,410 円]
こどもの居場所づくり	☆こどもみらい塾☆	72,800 円 [7,560 円]

その他実施事業

事業名	実施時期	詳細
公開プレゼンテーション及び審査会	5/28	応募のあった 10 件のプロジェクトについて、公開プレゼンテーション及び審査会を実施。採択プロジェクトを決定。

地域教育研究センター事業実施状況

中間報告会	11/12	各チームからプロジェクトの進捗状況を発表され、審査委員からのアドバイスや他チームの活動を知り、後半の活動につなげる機会として実施。
交流会	11/12	中間報告会後に、立社社中メンバー及び審査委員や担当教員を交え開催。
第1回スキルアップセミナー 「立志アイデアソンー知財×域学共生」	12/12	高知県産学官民連携センター(コプロ)と本学地域教育研究センターが連携して実施する取り組みの一つとして開催。
第2回スキルアップセミナー 「地域と学生『志』立っちゅう？」	2/1	活動を振り返りながら、地域や自分たちの課題を把握・共有し、次年度の活動につなげるワークショップを行なった。
活動成果報告会	3/18	各プロジェクトの活動を評価し、成果や課題を共有することを目的に開催。

【コミュニティサービスラーニング(CSL)サポートデスク】

地域の抱える課題を認識し、課題解決への関心を高めた学生が、専門的な知識や技術など大学での学びの成果を活かして、域学共生の理念に基づき、ボランティア活動を行うコミュニティサービスラーニングを支援することを目的とするための窓口として、平成 28 年度に設置された。

平成 29 年度延べ参加者数：59 名

概要	受入先	実施時期	参加学生数
小・中学校での学習支援	津野町教育委員会	8/21～9/1	16
		2/26～3/9	20
小・中学校での学習支援	三原村教育委員会	8/21～8/25	5
小・中学校での学習支援	安芸市・安芸市教育委員会	9/1～9/16	8
		2/20～3/5	7
ボランティアガイダンス企画・運営	認定特定非営利活動法人 NPO 高知市民会議	9/18	1
高知ミニキャンプの運営手伝い他	フェニックス親の会	10/8～10/9	0

ティーンズコーナーの選書・配架準備	高知県立図書館	1/9～1/12	2
広報誌の企画・取材～配布	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会	年間随時	0

【協力団体との連携強化に向けた取り組み】

連携の強化に向けて、高知県や市町村、学生受入団体等との情報交換を定期的に行なっている。

内 容	開催時期
域学共生連携会議 (高知県・高知県立大学)	6/12
域学共生連携拡大会議 (県内地方公共団体及び関係団体・企業等・高知県立大学)	12/26
ご意見番会議 (地域で協力いただいている団体・高知県立大学)	7/5、1/25

【その他】

産官学研究部会の事業として出展。

内 容	開催時期
第6回高知県ものづくり総合技術展への出展	11/17～19